

融合プロジェクト

「教訓を踏まえた災害に強い地域づくり・奥能登版デジタルライフラインの構築
に対しての私達の提言」

6班

佐竹十和子
鳥木広海

的場悠紀
向田琴音

小中真凜
萬谷実央

岩根光優

1. 私たちの提言

『被災者へのアンケート』

災害地域にいる人達にアンケートを一斉配信

時期
場所

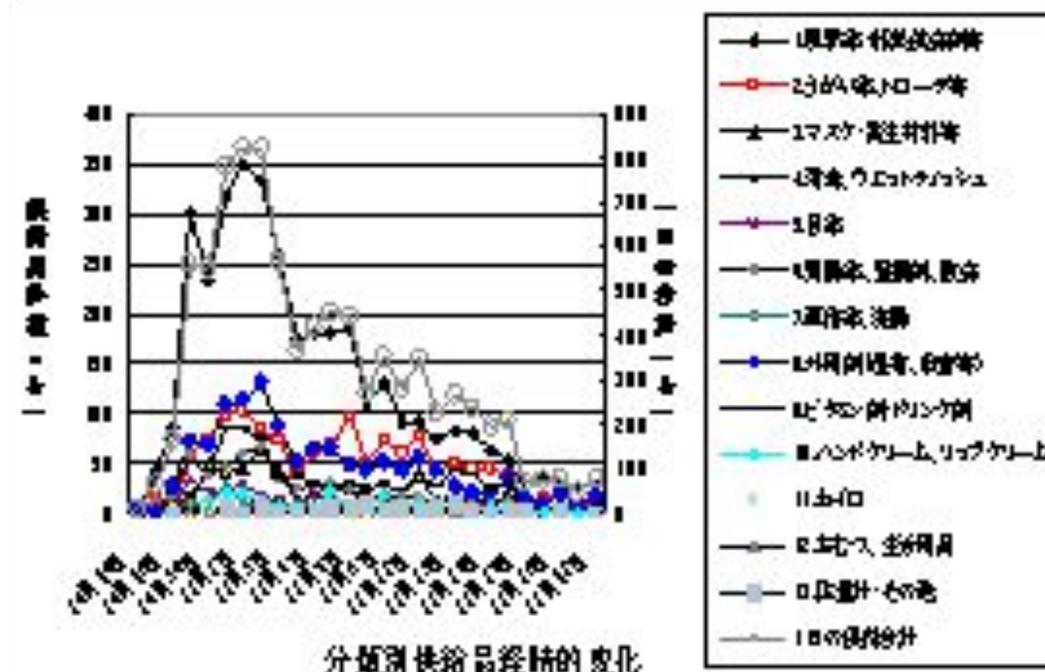
震災直後
避難所



2.見込める効果①

時間の経過に応じて必要な薬などをすぐに用意することができる

初期：消毒液
2週間後：安定剤、
緩下剤、口内軟膏



新潟県中越地震での供給品の経時的変化

3.見込める効果②

お薬手帳だけでは把握できなかった必要な薬などを
受け取ることができる



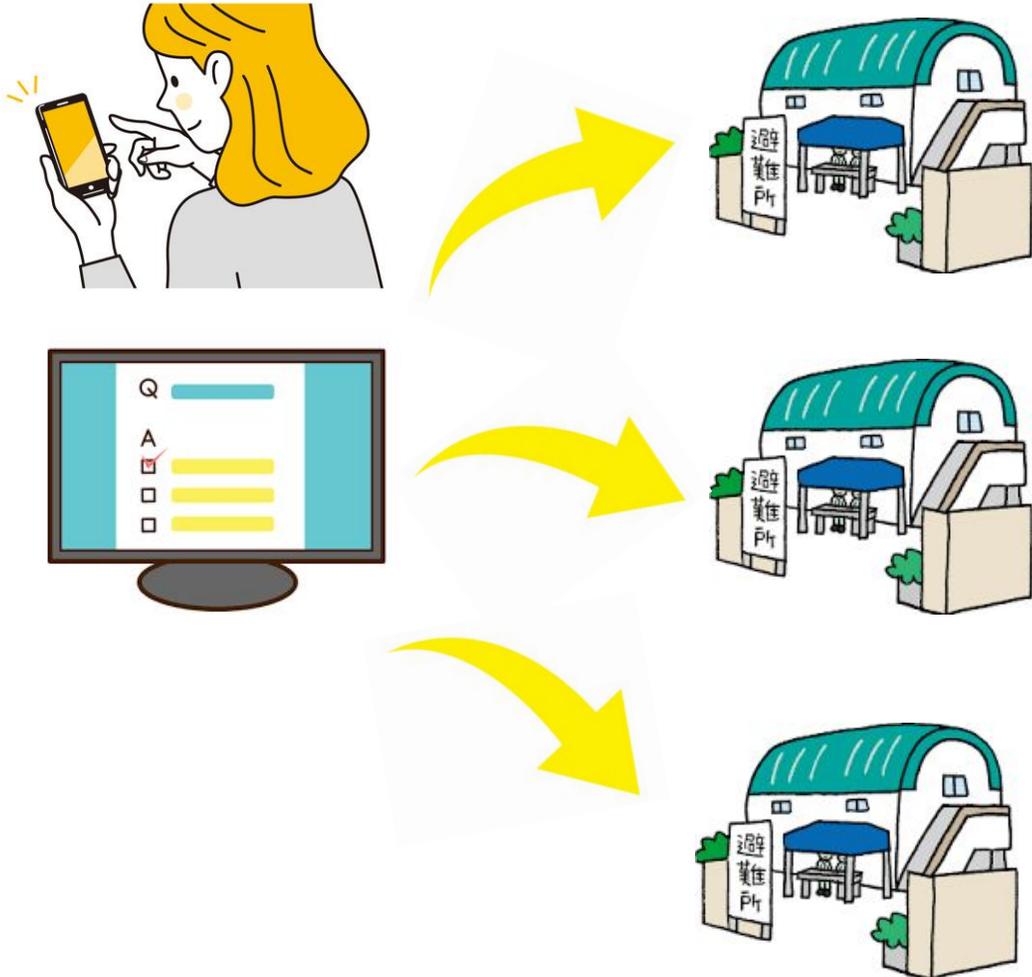
お薬アンケートと相談風景

A composite image showing a survey form on the left and two photos of pharmacist consultations on the right. The survey form is titled 'お薬アンケート' and includes fields for name, address, and phone number, followed by a list of medicines and a table for recording usage. The photos show pharmacists in white coats interacting with customers at a pharmacy counter.

お薬名	使用回数	使用状況	備考

4. 実施方法

※震災発生直後



モバイルファーマシー・
薬剤師を要請



5.どのような役割から考えたか

- ①佐竹→法律
- ②的場→ビジネス
- ③小中→経済学
- ④岩根→行政
- ⑤鳥木→工学
- ⑥向田→医療
- ⑦萬谷→薬学

